

# 京都発 文化と暮らしの未来

京都新聞創刊140年記念  
「日本人の忘れもの 知恵会議」  
京都経済センター開業記念フォーラム

AIやIoT、ロボティクス、自動運転、生命工学など最先端テクノロジーの進化に伴って、急速に変化する現代社会。一方、人口減少、地域コミュニティの弱体化など多くの課題を京都のみならず日本社会全体が抱えています。本フォーラムでは、「京都経済百年の計」の下、3月に開業したばかりの京都経済センターを会場に、気鋭の経済学者および、文化や芸術分野振興に寄与する専門家、そして、地域に根差し、地域とともに発展を目指す「地域企業」を代表する企業代表者を招き、明日の一步を考えます。

日本人の忘れもの  
知恵会議  
未来を拓く京都の集い

日時 = 2019年5月21日(火) / 15時30分～18時(開場15時)  
会場 = 京都産業会館ホール北室(京都経済センター2階)  
京都市下京区四条通室町東入  
※公共交通機関でご来場いただきますようお願いいたします。

●内容

① 基調講演 「京都発－文化と暮らしの未来」

鷲田清一氏 (哲学者)

② パネルディスカッション

鷲田清一氏 (哲学者)

堂目卓生氏 (大阪大社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 長)

岡村充泰氏 (京都市地域企業未来力会議 / ウェダ本社代表取締役)

村上佳代氏 (文化庁 地域文化創生本部 文化財調査官)

松倉早星氏 (Nue inc. 代表 / プランナー)

◎ コーディネーター / 内田 孝 (京都新聞総合研究所所長)



鷲田清一



堂目卓生



岡村充泰



村上佳代



松倉早星

●申し込み = はがきかファクス075-222-2200、Eメール keikaku@mb.kyoto-np.co.jp に郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、4月22日(必着)までに〒604-8567 京都新聞COM「日本人の忘れもの知恵会議」係へ。抽選で当選者に参加証を送付。問い合わせは、京都新聞COM / Tel.075-241-6170

主催 = 京都新聞

共催 = 京都市・京都市地域企業未来力会議

協力 = 文化庁 地域文化創生本部

企画協力 = 日商社

事前応募制

定員200人

入場無料

●鷲田清一 (わしだ・きよかず)

1949年京都市生まれ。京都大大学院文学研究科博士課程修了。関西大教授、大阪大総長、大谷大教授、京都市立芸術大学長などを歴任。せんだいメディアテーク館長。専門は哲学、倫理学。サントリー学芸賞、桑原武夫学芸賞、読売文学賞など受賞多数。主著に「「聴く」ことの力」「モードの迷宮」「哲学の使い方」など。

●堂目卓生 (どうめ・たくお)

1959年岐阜県生まれ。慶應義塾大経済学部卒。京都大大学院経済学研究科博士課程修了。立命館大経済学部助教授、大阪大大学院経済学研究科教授などを経て、2018年、大阪大総長特命補佐、社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 長に就任。専門は経済学史、経済思想。「アダム・スミス」でサントリー学芸賞を受賞。

●岡村充泰 (おかむら・みつやす)

1963年京都市生まれ。京都産業大卒。2002年ウェダ本社代表取締役社長に就任。ソーシャルノベーターの飛躍の場として「京都流議定書」を毎年開催。京都市地域企業未来力会議では、改革実践グループのメンバーとして「京都・地域企業宣言」の策定に尽力。京都経済同友会常任幹事。

●村上佳代 (むらかみ・かよ)

1982年愛媛県生まれ。九州大大学院博士課程修了。博士(芸術工学)。文化庁はじめての観光の専門職として、現在は多言語化やユニークベニューなどの文化財の活用や観光に従事。専門分野は、文化財を生かした観光まちづくり。前職は、北海道大観光学高等研究センター特任助教。

●松倉早星 (まつくら・そうせい)

1983年北海道富良野生まれ。立命館大産業社会学部卒。東京・京都の制作プロダクションを経て、2011年末 ovaq inc. を設立。2017年7月より、プランニング、リサーチ、クリエイティブに特化した Nue inc. 設立。領域を問わないコミュニケーション設計、プランニング、戦略設計を展開し、国内外のデザイン・広告賞受賞多数。